



～校訓「自主」「創造」「友愛」～ 岳城だより

須 恵 東 中 学 校
学校通信 第12号
令和7年9月26日
文責 校長 永松亜希子

自分探しの旅！キャリア教育から学んだこと

9月は、本校の3学年とも「キャリア教育」が位置付けられ、自分をみつめる大切な時間となっています。1年生から3年生まで系統立てて、社会的な自立に向けて、学習を進めています。

一年生

1年生は、9月19日(金)に須恵町アンビシャス広場のご協力をいただき、『ゆめ広場』を開催しました。この学習では、13の職業コースに分かれて、さまざまな職業人の方々から仕事の内容ややりがい、大変さなどについてお話を伺い、「はたらくとはどういうことだろう？」と考える時間をもちました。

当日は、生徒たち自身が分科会の司会や講師の先生のお迎えなどの役割を分担し、立派に取り組む姿が見られました。

1年後の職場体験学習へ向けて、今からとても楽しみです。



ケーブルテレビの取材を受けました

二年生

2年生は、9月18日・19日の二日間、須恵町近郊の33ヶ所の事業所にお世話になり、職場体験学習を行いました。

生徒たちは、働くことの大変さややりがいにもふれるとともに、日頃からご家庭で支えてもらっていることへの感謝の気持ちを改めて実感できたのではないのでしょうか。私もいくつかの事業所を訪問しましたが、その際には、東中生のあいさつや受け答え、前向きな姿勢を多くの方にほめていただきました。

2日間を通して、生徒一人ひとりのやる気や思いがしっかりと伝わってくる、貴重な体験になったようです。

・職場の方の厳しくも温かい雰囲気の中で、一つ一つ丁寧に仕事をするのを頑張った。「こたわること」の大切さややりがい、仕事の大変さを学ぶことができた。
・「他に手伝えることはありますか？」など聞き、役立てるように奮闘した。率先してはたらき、少しでも戦力になれるよう行動に起こすことができた。



三年生

3年生は、15年間の集大成として「自分史づくり」に取り組んでいます。

須恵町には『学びのあしあと』があり、これまでに家族や先生方が残してくださった温かな思いがたくさん綴られています。それを生かしながら、自分自身の歩みを振り返り、「今までの自分」と「これからの自分」を見つめ直す学習です。

自分を言葉で表現することに少し照れくささを感じる人もいるかもしれませんが、自己理解を深める大切な機会になります。さらに、この経験は、これから高校や大学で必要となる「自分を表現する力」にもきっとつながっていくことでしょう。来週から行われる発表会、楽しみにしています。



英語スピーチ大会 糟屋地区大会開催

9月20日(土)、糟屋地区英語スピーチ大会が開催され、本校からは3年1組の安河内愛菜さんが出場し、素晴らしいスピーチを披露してくれました。演題は「Compliments Like Ohajiki」(＝おはじきのような誉め言葉)。スピーチでは、「誉め言葉をかけられたとき、謙虚さも大切ですが、素直に受け入れることも必要で、相手の感謝の気持ちに敬意をもって応えることが大事だ」という思いが語られました。

聞く人の心に温かさを届ける、すばらしい発表となりました。



ちょっとうれしい話

先日、地域の方からうれしいお話をいただきました。その方がコンビニでレジに並んでいたとき、前にいた東中の生徒が商品を受け取る際に、店員さんへ「ありがとうございます」と素敵な笑顔で声をかけていたそうです。

また、別の日には、運転中に横断歩道で車を止めたところ、渡り終わった中学生がぺこっと頭を下げてくれた、とも話してくださいました。このような自然で爽やかな姿に地域の方も元気を貰ったとのことでした。

みなさんのちょっとした素敵な行動が、地域の方の心を温かくし、東中全体の雰囲気をよりよいものにつけてくれているのだと思います。